

高知

高知支局
〒780-0861
高知市升形1の23
TEL 088(822)2211
FAX 088(875)0265
kochi@mainichi.co.jp
【取材網】
南国駐在 088(863)0595
四万十通信部
0880(37)2440
【広告のご用は】
毎日広告社 088(823)0020
【購読のご用は】
0120-488012

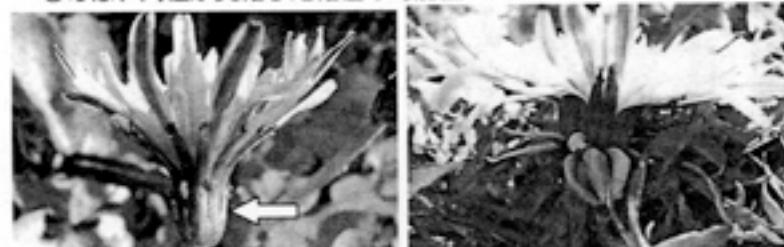
これあなたも
お料理上手。
ひょうたんマークの/
お料理のからくじで
お手本にも活躍
ください。

ごんぶ屋の
こんぶ屋の
ことわり仕立てです。

80不二食品株式会社
本社 06-5443-5671
大阪市福島区玉川4丁目7番1号
東京支社 03-5878-3888
東京支社戸田市中野西1丁目10番16号
http://www.fujishokuhin.co.jp

まいまい クラブ
会員募集中
(入会無料)
http://my-mai.mainichi.co.jp
事務局 050-1199-7655

在来種のカンサイタンボボと、外来種のセイヨウタンボボ=県立牧野植物園提供。緑色(矢印)が花に密着していれば在来種、反り返っていれば外来種と見分ける。半分くらい反り返っているものは、両種が交雑した雑種の可能性が高い



先月末、雨上がりの県立牧野植物園(高知市五台山)を散策しました。自然のシャワーを浴びた草花が、すっきりした顔立ちをしています。地面に目を凝らします。目当ては冬のタンボボです。6月10日までタンボボ分布の本調査が県内でも行われます。自然

環境の指標にしようと、70年代に大阪で始まった活動です。西日本18府県が昨年の予備調査に続き、今年は本調査する大がかりなもので。初調査となる高知は、同園が事務局を務めます。専門家ではなく、子どもをはじめ、一般から幅広く、タンボボの花と種(綿毛)を送つてもらうのが特徴です。

同園の藤川和美研究員(39)によると、タンボボはキクの仲間です。一つの花に見えますが、多くの「小花」の集まりだそうです。明治以降に欧洲原産のセイヨウタンボボが国内に広まりました。生命力が非常に強く、日本に生えていた在来種とは違って、道端のわずかな土でも育ち、年中咲きます。造成が進むにつれ、在来種が追いやり、外来種に代わっています。その分布比率を調べると、都市化の度合いがわかります。

04年の近畿の調査では、雑種を含む外来種の比率が地図上に色分けされています。都市化している

◆タンボボの送り先
花の部分だけ折ってティッシュで包み、藤川さん
(〒781-8125 高知市五台山4200の6、県立牧野植物園)=088-882-2601)まで。できれば花と同じ種の種(綿毛)もセロハンテープで用紙に張りつけ同封。採取日と場所、花を支える根元部分の緑色(そうこう)の反り返りの状態も記入。3月22日午前10時から、同園で関連イベント。タンボボコーヒーの試飲も。申し込み受け付け中。無料。

元気印の花を探せ!

花の部分だけ折ってティッシュで包み、藤川さん(〒781-8125 高知市五台山4200の6、県立牧野植物園)=088-882-2601)まで。できれば花と同じ種の種(綿毛)もセロハンテープで用紙に張りつけ同封。採取日と場所、花を支える根元部分の緑色(そうこう)の反り返りの状態も記入。3月22日午前10時から、同園で関連イベント。タンボボコーヒーの試飲も。申し込み受け付け中。無料。

カシサイタンボボは香川や徳島には多く生えています。「なぜ四国山地を越えられなかつたのか。定されています。

カシサイタンボボは香川や徳島には多く生えています。「なぜ四国山地を越えられなかつたのか。定されています。

冒頭のタンボボ探し。革靴を汚して南園をくまなく歩き、あきら

めで帰る時でした。通路沿いの石垣の上にようやく2株を見つけま

した。雨上がりのため花は開いてしまった。ちっちゃい元気をもらいました。

【高知支局長・大澤重人】

ohzawa-s@mainichi.co.jp

支局長からの手紙

市のデザイナー、楠本剛さん(45)に昨秋、紙芝居の製作を依頼しました。青春編▽波濤編



紙芝居を披露する宮本典晃さん

3月は土日と祝日の午前11時、午後1、2、3時。4月以降は毎日の予定。雨天中止。無料。

料理人約30人が食材の選び方や見た目などを審査し、浜田大海さん(24)の「ありがと

丸ハ

市のデザイナー、楠本剛さん(45)に昨秋、紙芝居の製作を依頼しました。青春編▽波濤編



赴任

3月は土日と祝日の午前11時、午後1、2、3時。4月以降は毎日の予定。雨天中止。無料。

料理人約30人が食材の選び方や見た目などを審査し、浜田大海さん(24)の「ありがと